

## 「春日井市立神屋小学校出前授業」

水土里ネット愛知用水

平成29年11月10日（金）、春日井市立神屋小学校の4年生児童38名を対象に水土里ネット愛知用水の職員が講師として出前授業を開催しました。

当日、授業の前半では近藤事務局長が『神屋地下堰堤の話』を、後半は春日井事務所職員が『愛知用水ができるまで』、『愛知用水の概要』について授業を行いました。

前半の『神屋地下堰堤』の話では、そもそも地下堰堤とは何か、どのようにして神屋に地下堰堤が作られたのか、また神屋小学校周辺の昔と今の比較、などといった内容を質問を交えながらわかりやすく伝え、後半の授業では、雨水がたよりだった知多半島の生活、愛知用水建設に向けた久野さん濱島さんのお話、水源地の方々の協力があって愛知用水が完成したこと。また、水土里ネット愛知用水副読本『愛知用水ブック』を使い、水土里ネットの意味や、愛知用水の役割、水源地域の森の大切さを伝えました。

出前授業についてアンケートを行ったところ、『地下堰堤が全国的にめずらしいことを初めて知りました。』、『お米を作るのに、水がとても大事なことがわかった。』、『愛知用水のことをもっと知りたい。勉強したい。』といった感想をいただき、地下堰堤への興味関心や、愛知用水がもたらす水の大切さ、どうして愛知用水が必要だったのかといったことの理解を深めて頂けたと感じました。



地下堰堤のお話



質問にも元気よく答えてくれました！



熱心に取り組む児童たち



水土里ネットってなんだろう？